

## 本邦における婦人科悪性腫瘍合併妊娠の調査

### 1. 研究の対象

2012年1月1日から2017年12月31日まで間に、妊娠中に子宮頸癌または卵巣癌と診断され、入院または通院し、診療を受けた方が対象です。

尚、子宮頸癌は微小浸潤癌以上の病変で、卵巣癌は境界悪性腫瘍以上で非上皮性悪性腫瘍を含むものを対象とし、妊娠中とは妊娠が確認されてから分娩までの期間とします。

### 2. 研究目的・方法

本邦における子宮頸癌および卵巣癌合併妊娠の発生頻度・治療方法・その予後を調査し、悪性腫瘍とその治療が妊娠・分娩にどのように影響したかを検討します。さらに、新生児の予後についても検討します。本研究は、本邦の周産期母子医療センターならびにがん診療拠点病院にて、診断または治療された患者の情報を、日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会が中心となり集め、解析します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

子宮頸癌または卵巣癌合併妊娠の診療に関する診療記録、臨床検査データ(病理診断、分娩週数、手術方法、治療方法、最終生存日など)。ならびに出生時に関する診療記録(出生週数、出生時体重、性別、新生児合併症など)。

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報すべてを削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形として、治療を行った施設から日本産科婦人科学会ホームページ上で情報登録を行います。データ通信はSSL暗号化通信で行われ、患者さんの情報は匿名化されています。また、患者さんの情報と個人情報を連結させることはなく、事務局による患者個人の特定ができません。

### 5. 研究組織

日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会

京都大学医学研究科産科学婦人科学分野 教授 万代 昌紀

本邦の周産期母子医療センターならびにがん診療連携拠点病院(約500施設)

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岐阜県立多治見病院産婦人科 竹田 明宏

TEL:0572-22-5311 FAX:0572-25-1246

Email:info@tajimi-hospital.jp

研究事務局

三重大学医学部産科婦人科学教室 田畑 務

TEL:059-232-1111(内線 6430) FAX:059-231-5202

Email:tabatat@clin.medic.mie-u.ac.jp

日本産科婦人科学会事務局

TEL:03-5524-6900 FAX:03-5524-6911

Email:nissanfu@jsog.or.jp